

この際、申し上げます。

発言時間については、申し合わせにより、時間内に終わるように御協力をお願いいたします。

また、関連質問につきましては、通告者と同会派の議員とし、本質問の内容と関係のあるもので、本質問者の持ち時間内としておりますので、そのように御了承願います。

それでは、通告により、順次発言を許します。新政会、14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） 皆さん、おはようございます。

会派代表質問をさせていただきます。

会派、新政会の初村久藏でございます。

早いもので、比田勝市長が誕生されてから、やがて1年を経過しようとしています。対馬市の行政運営に日夜努力されていることに対し、敬意を申し上げます。市長にとりましては、あつという間の1年間であったと思われまます。

それでは、通告に従いまして、平成29年度予算から。

比田勝市長の思いが反映された予算づけがされていると思います。

昨年4月の市長所信表明で3つの重点政策を掲げられました。

- 1、産業の振興、企業誘致。
- 2、子育て支援、教育の充実。
- 3、高齢者が安心して暮らせるまちづくり。

以上の3点の施策について、主に、29年度予算にどのように編成をされたかお伺いをいたします。

2点目の、行政全般について伺います。

まず、職員の時間外勤務について、平成27年度決算で残業代が1億8,400万円計上されています。職員の適正配置も必要であるが、職員の削減により、負担も大きく作用されていると思われまます。

昨年、職員1人当たりの給与費約607万円で試算しますと、残業代で約30人の雇用が生まれます。職員を削減するだけでなく、現状維持しながら新規採用も積極的にする考えはないか、お伺いをいたします。

小さく2点目の、嘱託職員の待遇についてお伺いをいたします。

対馬市では、現在、各職種に138名の嘱託職員が在籍されています。職種により、給料体系は違うと思われまますが、一般職と同仕事されている方もいます。給与の格差があると思われまますが、待遇の改善はできないか、市長のお考えを伺います。

小さく3点目の、市役所本庁の案内窓口は設置はできないか。

特に高齢者、新規来庁者が来庁しても戸惑う場面が見受けられます。高齢者が安心して来庁し

て用事が済ませるように環境をつくり、窓口は必要と思われませんが、市長のお考えを伺います。

大きく3点目の、国境離島新法について。

平成29年度より施行される国境離島新法で、創業支援が盛り込まれています。新規参入、規模拡大等、民間創業者が対馬市の受け付け状況をお伺いいたします。

以上で、私の質問は終わります。

関連質問で、会派の黒田議員より質問も2点ほどあります。市長の明快な答弁をお願いいたします。

なお、答弁により、自席より一問一答でお願いをしたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 新政会、初村議員の質問にお答えいたします。

まず初めに、施政方針説明でも申し述べましたが、平成29年度予算は、移住・定住支援対策、観光客受入対策、産業振興による雇用の場確保対策及び有人国境離島新法に係る施策を中心に編成しております。

移住・定住対策につきましては、人口減少対策の重要施策と位置づけており、島暮らし情報の発信、受入体制推進を図るため、U・Iターン相談者の思いに応える窓口機能を強化し、各担当部局との情報共有、事業連携を図りながら、きめ細やかな支援を行います。新たに、元教員住宅を活用したお試し住宅を整備するほか、インセンティブ施策として、空き家の改修費、引っ越し費用、家賃等を助成、さらに、高校または大学等を卒業後、島内で就業した者を対象とする、新規卒業生定着奨励金を創設するなど、移住・定住支援対策に重点的に予算措置を行っております。

観光客受入対策及び産業振興による雇用の場確保対策につきましては、有人国境離島法を活用した施策として、もう一泊したいと思わせる魅力ある観光地づくりに取り組む滞在型観光促進事業、農林水産品の移出や原材料等の移入費を支援する輸送コスト助成事業、雇用増を伴う創業または事業拡大を行う場合の設備投資資金や、人件費、広告宣伝費などの運転資金などを支援する新規創業・事業拡大支援事業を予算化しております。

その他、観光客受入対策として、新たに、サイクリングイベント事業、トレッキングルート造成事業、観光ガイドの養成、観光メニューの開発に取り組むエコツーリズムプランナー事業などを予算化しております。

産業振興による雇用の場の確保対策としましては、地域商社立ち上げに向けた農林水産振興施設建設事業、ふるさと納税返礼品制度の拡大・拡充、事業継承拡大のための設備投資を助成する商工業活性化推進事業、企業誘致奨励補助金などを予算化しております。

所信表明の3つの重点施策ごとに、主な新規事業等を申し上げますと、1つ目の産業振興、企業誘致につきましては、ただいま申し上げましたとおりでございます。2つ目の子育て、教育の

充実につきましては、保育料及び子ども医療費の軽減支援、修学旅行・給食費の助成拡大、ICT教育推進のための電子黒板導入事業、生徒数増加等に対応するための校舎増築事業など、3つ目の高齢者が安心して暮らせるまちづくりににつきましては、高齢者の買い物等の交通費を軽減する高齢者移動費助成事業、運転免許証自主返納支援事業、地域での支え合い活動を発掘するための生活支援コーディネーター配置事業、敬老行事開催補助金の拡充などを予算化しております。

今後におきましても、地域の活性化を図り、市民の所得向上と福祉の充実を目標として、厳しい財政状況ではありますが、限られた財源を最大限活用できるような予算編成に努めてまいります。

次に、職員の時間外に関する質問でございますけれども、時間外勤務の平成27年度総時間数は8万299時間で、市長選挙及び県議会選挙の選挙事務に係る時間外勤務を除きますと、7万4,896時間となります。部署ごとの年間総時間で見ますと、最も多いのは、農林水産部基盤整備課で、1人当たりの月勤務時間は50.92時間となります。次に多いのは、建設部建設課で、1人当たりの月勤務時間は38.58時間となります。3番目は、観光交流商工課が、1人当たり月勤務時間31.38時間となり、以上の勤務時間は通年より多くなっていることを申し添えたいと思います。

その要因としましては、基盤整備課及び建設課では、通常の業務以外に平成27年8月31日から9月1日にかけての豪雨による漁港施設、農林道及び市道等の災害発生に起因するものであります。

また、観光交流商工課については、一般社団法人対馬観光物産協会への派遣職員で、福岡市にある対馬のアンテナショップ、よりあい処つしまの勤務において大幅な時間外勤務増となったことが大きな要因であります。時間外勤務が増大することは、財政上の負担も問題であります、最も懸念されることは、職員の健康障害の問題であります。

一般的に、6カ月を平均して45時間を超える時間外労働が行われた場合、健康障害と業務の関連性が強まると言われております。

27年度実績において、年平均で20名の職員が月45時間を超える勤務実態となっております。採用試験で技術職員の募集を行っても、応募者が少なく、ここ数年採用できていない状況もあります。

しかしながら、長時間の超過勤務が職員の健康及び福祉に与える影響等を考慮し、能率的に職務執行を確保し、また、ワークライフバランスや経費削減等の観点からも、時間外勤務の縮減及びその適正な運用を図ってまいりたいと考えております。

次に、嘱託職員の待遇に関する質問でございますけれども、平成29年2月現在の嘱託職員は138名でありまして、学校等の用務員が35名、保育士が30名、それ以外に施設管理員、一

般事務及び医療事務等の業務に従事いただいております。

現在の職員数は550名で、嘱託職員を合わせますと、688名となり、対馬市で勤務する全職員のうち20.1%を嘱託職員が占めることとなっています。

正規職員とは、勤務体系にも違いがございます。正規職員の勤務時間は、出勤・退庁時間は職種等で若干異なりますけれども、基本、8時45分から17時30分までの7時間45分、週38時間45分勤務です。

一方、嘱託職員は、基本、1日5時間45分、週28時間45分勤務となっておりますが、大方の嘱託職員が、正規職員と同様に1日7時間45分勤務し、就業時間を超える2時間分につきましては時間外勤務とし、割り増し賃金を支給している状況でございます。

年齢及び同じ学歴で採用1年目の保育士が、月22日間勤務した場合で比較いたしますと、平成29年4月1日時点の給料表による支給額は、正規職員で月額15万8,800円、嘱託職員は月額15万1,080円となりまして、差額は7,720円であります。

これは、嘱託職員の支給額は、基本給10万5,100円に1日2時間分の時間外勤務手当の合計4万5,980円が加算されることとなっているからであります。

また、賞与は、平成28年度の支給月数は、職員が4.3月分、嘱託職員が2月分となっております。また、その他の手当は、通勤手当のみとなっております。

平成28年、人事院勧告による給料表の改訂が勧告され、職員につきましては、さきの12月定例会で条例改正を行ったところではありますが、嘱託職員の報酬基準表につきましても、職員に準じて要綱の改正を予定しております。

加えまして、6月及び12月に支給する割増報酬、いわゆるボーナスでございますけれども、その支給月数を年間2月分から2.24月分へ0.24月分増額することで処遇改善を図っておりますので、御理解お願い申し上げます。

次に、市役所本庁の案内の件でございますけれども、市役所では、毎年度、職員の士気の高揚と職員間の信頼、協調関係を高めるために、各部署におきまして、それぞれ組織目標を設定し、日々、業務に当たっており、高齢者、障害者はもとより、全ての市民の方が満足いただけるような親切的な対応に努めているところでございます。

市役所の人員体制に目を向けますと、行政改革によりその目標は達成し、数年来、退職者数に対し拡充が必要と考える職員の確保も難しいのが現状となっております。

また、今後も退職による職員の減や、国・県からの権限委譲等により業務量の増加が見込まれる中、一方、行政事務の外部委託の範囲については緩和されておりますので、本市といたしましても、行政サービスを維持するため、業務の一部委託も検討しているところでございます。

その一例として、市民の皆様が、申請手続などで窓口においていただいた際、複数の手続を

1つの窓口で完結できるワンストップサービスの構築に取り組んでまいりたいと検討を進めております。

次に、3点目の特定有人国境離島地域社会維持推進交付金における創業支援・事業拡大支援の相談状況であります。

現在、37事業者、総事業費4億2,250万円の相談がっております。

しかしながら、まだ、国が策定する地域社会維持推進交付金要綱が策定されておらず、補助要件基準等が未確定な部分がありまして、現在、相談いただいている事業案件全てが対象となるかについては、事業の熟度を含めて不確定な段階であります。

今後は、国の要綱が策定され次第、市民、事業者に対する説明会を実施するとともに、現在相談がっている事業案件、及び今後相談される事業案件についても、関係する部局の支援体制を整え、対馬振興局とも連携しながら、各事業者等へのサポートを行ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） どうもありがとうございました。

それでは、再質問をしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

まず、1点目の重点政策の件について。

主に、新規事業が、当初予算で18件ほど上がっております。その中でちょっと一、二点聞きたいと思っておりますけど。

農林水産業振興建設で、1,500万円ほど予算がされておりますけど、この件について、どのような建物をつくるのか、建設するのか、そのところが具体的にどの辺に予定があるのかお示しをお願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 産業振興関係で、地域商社配送センターの立ち上げ関係の設計委託費といたしまして1,500万円を計上させていただいております。

このことにつきましては、豊玉の振興公社のほうを、地域商社を付加させたいということから、そこに新たな加工施設、そして、冷蔵庫等を加えながら設計関係を行いたいということでの予算でございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） はい、わかりました。

その豊玉振興公社に地域商社をば入れ込むというようなお考えでよろしいのですか。

そして、その、ついでですけど、地域商社と言ったらあれですけど、対馬にも、やっぱり、個

人で豊玉振興公社みたいな感じの水産物の加工とかいろいろやっている人たちもあると思います。それをまとめたような、対馬市の、豊玉振興公社だけではなくて、その人たちの分も一緒にまとめたような対馬市の大きい公社をつくって、一手に引き受けて販売するような方向は持っていないのか、ただ、豊玉振興公社だけ、商社で自分のものだけ売るといような考えか、それとも対馬市全体を見据えた中の考えか、そこを伺いたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今の豊玉振興公社に流通機能等を付加した地域商社ということでございまして、今現在、対馬市の中で、それぞれ創業されております加工業者の皆さんも、話を聞くところによりますと、なかなかその原材料を手に入れることが難しいと、そしてまた、販売等につきましても、中央等への販売について、それぞれ難があるといような状況をお聞きしているところでございますけども、このことから、原料を各加工業者さんのほうへも支給することも目標にしておりますし、それぞれのところでつくられた加工品につきましても、これを関東等の中央のほうで販売するよな販売システムを、県とも連携しながら構築してまいりたいというふうに計画をしているところでございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） 大体わかりました。

そしたら、対馬全体の加工品を一手に引き受けて販売・供給ともやるというよな考えでよろしいですね。

それと、その中に、事業内容についてちょっと触れたいんですけど、島内飲食店等とありますけど、島内飲食店にも販売するわけですか。その魚とかいろいろな材料を集めて、そこにも供給していくというよな考えでよろしいんですか。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 島内の飲食店に魚を販売すると申しますが、要は、対馬に観光に来られても、せっかく、対馬での名物でありますそういった魚がなかなか食べられない機会もあるといことございまして、できれば対馬の新鮮なアカムツやアマダイ、そしてアナゴ、こういしたところをすぐにでもお届けできるよな、そういうシステムを構築してまいりたいと思っております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） よくわかりました。

私も、何回も一般質問でそのことについて触れたことがあります。結局、やっぱり、向こうから来る、まあ、内地の観光客ですね、やっぱり、対馬に来たら新鮮な魚、いい魚が食べられるといよなことで大方は来てあると思います。それで、私もちょっと苦言を聞いたことがあるん

ですけど、対馬に来て、どこでもあるような魚を食べさず、出とったと。それで、これは新鮮な魚どころじゃないなというような批判も受けました。そして、まあ、どこのホテルか知りませんが、明け日に、志まもとさんに行ったら、活魚であるそこは販売しますもんね、それを食べてやっとな、対馬に来たかいがあったなあ、というような話も聞いておりますので、ぜひ、やっぱり、対馬に来た皆様が食べられるような、供給体制ができるような商社システムをつくってもらいたいと思います。

それと、あと1つ、豊玉振興公社の場所ですね、対馬地域商社がそこで果たしていいのか、機能するかどうか、ちょっと私は懸念を持ちますけど、そこは大丈夫ですかね。場所的には、あるわけで、冷蔵庫とかなんとかいろいろつくるわけでしょうけど。大丈夫ですか。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） やはり、この地域商社関係を構築するにいたしましても、場所的にも、やはり、対馬の中央が一番いいのではなかろうかということと、そしてまた、今現在、漁協のほうから大方、原材料を仕入れるにしても、漁協も一緒になって取り組んでいただきたいという思いから、今の豊玉の水崎地区のほうに、用地もございまして、ここに、その機能を付加した地域商社のほうを立ち上げていきたいという思いを持っているところでございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） よくわかりました。

それでは、よろしく願いしておきます。

それでは、その2点目の高齢者移動費助成事業です。

この前の予算委員会でもいろいろ出ましたけど、これ、1人当たりの上限が年間5,000円と聞いておりますけど、助成金がですね、それでいいんですかね。

それで、年間5,000円というたら、まあ対馬は広うございます、北から南まで約100キロ以上あるわけですけど、その移動手段で、年間5,000円で果たしていいものか。特に、豆殿から、巖原でイベントがあるにしてもですたい、1回来たらもう5,000円ぐらいかかりますよ、タクシーとかなんとか、移動、タクシーにも助成するということでしょうか、移動したら。1回しかできません。それで、巖原市内とか美津島あたりは1,000円かそこらかでしょうけど、バス代にしても。何回か助成はできますけどですたい。そのとこの考えは、田舎の人たちにはもっと、優遇するような方向性はないのか伺いたい。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この高齢者移動事業関係は、500円のサービス券を10枚提供するというものでございまして。ただ、今75歳以上の方が、全てがそのサービスを利用されるかといいますと、まだまだ元気な高齢者も多数いらっしゃる中で、それを全てが利用されることではな

いというふうを考えております。

そういう中から、あくまで、これは試行期間といたしまして、まず、500円の券を10枚支給するというところから始めてみようということで計画いたしておりますので、この事業が多くのお客様に利用されるようであれば、また今後、検討を重ねてまいりたいというふうに思っております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） わかりました。大体、最初の事業でございますけど、いろいろとあろうと思っておりますけど、また、充実したような方向に持っていければと考えます。よろしく願います。

それと、また1点、中対馬未来づくりアクションプラン策定事業ちゅうところが出ておりますけど、これがどのようなあれを考えてあるのか。中対馬を、今の状況では観光客あたりも取り込めないということで、策定をされようとしてあることはわかるんですけど、主にどのような事業が、計画を練ってあるのかをお伺いしたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今、豊玉地区、そして峰地区の中地区におきましては、お客様が、かなり、素通りされているというような現状がございます。そういう中で、和多都美とか、そういったところを中心としたところは、まだまだ韓国のお客様も多く訪れてあるようでございますので、ここら辺を含めて、対馬の中地区での観光をもう少し広めていこうと、そして、お客様を集めて、活性化を図るための施策はどういった施策がいいのか、といったところを、市民の皆様も集まっていた上で、いろいろと議論を重ねた上での計画づくりをしようということでございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） わかりました。

中対馬の将来を考えたら、ぜひ、必要なこととは思いますが、私は、中対馬には、今回も同僚の小川議員が質問をされておりますけどですたい、やはり、ゴルフ場をですね、対馬の将来のためには、ゴルフ場を中対馬につくったら、一番活気づくんじゃないかと思うわけですけど、そこはもう、小川議員に任せますけれどですね、やっぱり、将来的に、対馬の今後を考えたら、やっぱり、観光客、本土からの観光客並びに韓国からの観光客の利用が、考えたらやっぱり、中対馬峰あたりにも市有地があるらしいけどですたい、そういうような話も一時期、合併当初はありましたが、今、立ち消えみたいなことになっておりますけど、ぜひ、これも市長の大きな夢として、対馬市の考えとして、ぜひ、これは必要やと思っておりますが、考えてみてもらいたいと思っております。あとは、小川議員が詰めはすると思っておりますので、よろしくお願いしておきます。



それでは、2点目の職員の時間外についてちょっと触れてみたいと思います。

今、国では、働き方改革というあれが、今、起動しております。その関係で、長時間労働抑制のために、電通で長時間労働で自殺とかいうような問題が起こったので、国も腰を上げたと思えますけどですたい、月の上限が60時間、年間720時間以内ということで、一応、話が進んでいるようでございます。

対馬市の27年度の残業ば見てみますと、720時間以上は、やっぱり6名ほどおられますので、そりゃ、部署によって、昼間は現場に行っても残業せにゃあいけんことはわかります。わかりますけれど、やっぱり、月平均もう70時間、80時間ちゅうこともありますのですね、20日にしても1日に4時間から5時間は残業してるわけですよ。もう寝る間はないですよ。本当、やっぱりそういう重労働をさせたらやっぱり大変だと思いますので、やっぱり、職員も、私は、減らすばかりが脳じゃないと思います。忙しいところには、やっぱり、人員配置をして個人の負担を減らすとか、それは、こん私たちがは言うだけで、その内容はよくわかりませんが、幾らか減らされると思いますよ。それで、その職員を、新卒やったら年間にしても300万か400万ぐらいで済むと思います。そしたら、やっぱり二、三十人は雇うても別にできると思いますので、ぜひ、これは、何か方法を考えてみてください。と思います。何かあれば、その点で。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 冒頭の答弁の中でも申し上げましたけども、採用試験のほうで、技術試験の募集も行っておりますけども、なかなか、近年は、この土木職・建築職の職員の応募がないというようなことで、現在、我々といたしましても困っているところでございますけども、今後は、若い事務系の職員を採用して、この事務系の職員を技術職員のほうに育てていこうという方向性を持ちながら、今後、職員の採用に向けて検討を重ねてまいるといことにしております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） それでは、その嘱託職員の件について、ちょっと伺います。

嘱託職員は、ほとんど正職と同じような仕事内容だとは思っております。それで、やっぱり、これはあんまり格差が広過ぎると思いますよ。残業2時間を入れて正職員並みですね。5時間45分やったらもう6割程度です、6割もいかんぐらいの程度ですよ。それと、やっぱり、期末手当ですか、期末手当は3カ月分ですか。2カ月分でしょ。（「今は2カ月です」と呼ぶ者あり）2カ月分でしょ。（「そうです」と呼ぶ者あり）それで、普通の正職員は4.3カ月分ということで、大きな差もありますんがですたい、やっぱりこれは市で、独自でできるでしょうけん、幾らかです、やはり給料体系も上げてもらわねば、これも30年後にはもう、残業しても10万以上の差が開いてくるわけですけどですたい。やっぱり、もう、嘱託職員でこれは必要な

場所のところはある程度上げてやって、これは退職金もないわけですけどがですたい。やっぱり、給料も幾らか上げてやって、その一時金も幾らか上げるような方向で、やっぱりそうしていかなければ、今、若手がですね、男に例えればですたい、やっぱり、20年しても20万なるかならんような状況ではですね、やっぱり、奥さんもらおうにしてもなかなか難しいと思いますよ。ぜひ、これはやってもらいたいと思います。

それと、続いてですけど、窓口の案内ですね。いろいろ考えてあるようでございますので。

あるとこで、政務調査ですかね、行政視察か何か行ったときにも、下関市かね、あそこは幹部職員が対応してますよ、立って、やはり窓口をですね。そういう暇、暇ちゅうたらおかしいですけどですたい、やっぱり、交代ででもですね、忙しい期間だけでもいいですけどが、やっぱり、そうしたら気持ちがいいと思いますよ、入ってきた人たちも。ぜひ、それは考えてもらいたいと思います。

もう時間もあんまりありませんけど、何かあれば。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） ワンストップサービスの件につきまして、先ほども、構築に取り組んでまいりたいというような答弁をしたところでございますけども、このワンストップサービスにつきましては、複数の窓口で行っていた届け出や申請といった業務を1つの窓口で完結させるための、一応、施策ということで現在、これに取り組んでいこうということで進めているところでございますけども、あわせてこの届け出、申請用紙の記入の補助や窓口までの誘導案内を行うフロアマネージャーにつきましても配置をしたいということで、現在、進めているところでございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） どうもありがとうございました。いろいろいい答弁をいただきましてありがとうございます。

比田勝市長ももう1年でございますので、まだ、あと3年あります。ぜひ、自分のカラーを出して対馬市のために頑張ってもらいたいと思います。もう、私たちはこの3月議会で最後でございますので、頑張ってもらいたいと思います。どうもありがとうございました。

では、黒田君が関連質問をいたしますので、市長、よろしく願いしておきます。

○議長（堀江 政武君） 新政会、7番、黒田昭雄君。

○議員（7番 黒田 昭雄君） 皆さん、おはようございます。新政会の黒田昭雄でございます。初村会長に続きまして、関連質問をさせていただきます。会長のほうから国境離島新法のことで雇用のことを質問をされました。ほかに運賃と輸送コスト、そして滞在型観光ということで、